

般若谷堰堤群 <岐阜県揖斐川>

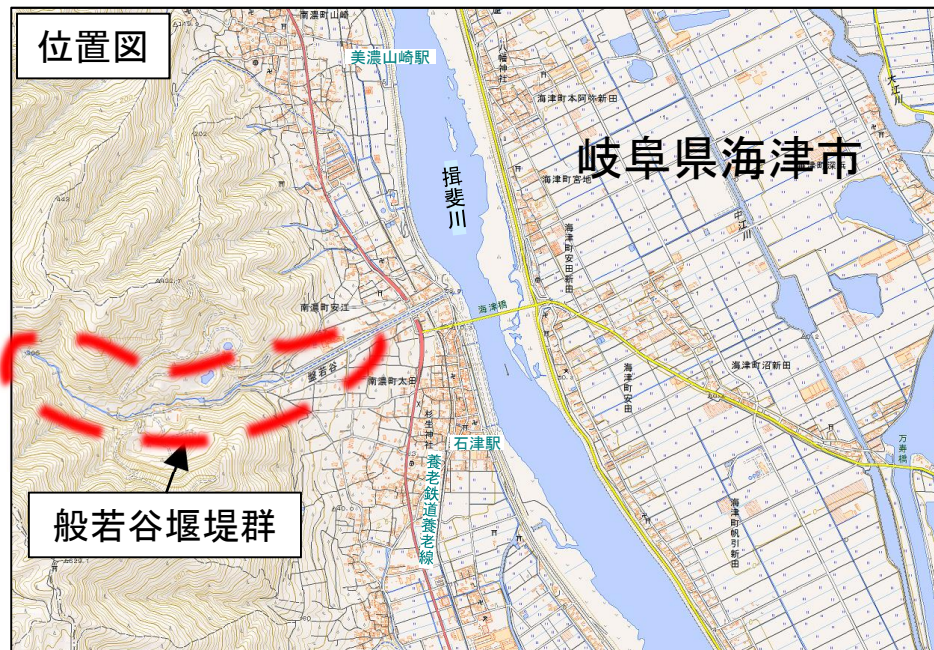
【所在地】岐阜県海津市南濃町

【竣工年】明治10年代

【構造】巨石積工

【特徴】養老山地では、地質が脆弱な古生層であること、新田の開発や輪中の堤防工事には、大量の木材が必要とされ、養老山地から伐り出されたため、山地を著しく荒廃させました。

デ・レーケは「川を治めるにはまず山を治める」という考えのもとに、禿げ山に山腹工事を実施し、山腹斜面の緑化をはかるとともに、溪流には土砂を扞止する巨石積堰堤の築造などを指導しています。



岐阜県県土整備部砂防課提供